

エコプロダクツ2015 併催シンポジウム

「世界のグリーン公共調達と環境ラベルの最新動向」

“Current Status of Green Public Procurement and Eco-labelling in the world”

本年9月に「国連持続可能な開発サミット」において「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」が策定されました。その目標の一つである「持続可能な消費と生産のパターンを確保する」では、世界各国で「持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組み（10YFP）」（国連環境計画（UNEP））や持続可能な公共調達（SPP）を促進することとしています。また、UNEPは10YFPに関連して、各国のグリーン公共調達（GPP）制度の確立を目的に、環境ラベル制度（ISO14024に基づくタイプI環境ラベル制度など）を関連付けて促進するプログラム（SPPEL）もアジアなどの地域で実施しており、各国でGPPや環境ラベル制度の構築・展開が進みつつあります。

これらの制度は、それぞれ独自の環境基準に基づいて展開されているケースもあり、国際的な市場のグリーン化を推進する上でのハードルにもなっています。そのため、各国でのGPPや環境ラベル基準の調和のあり方が注目されています。

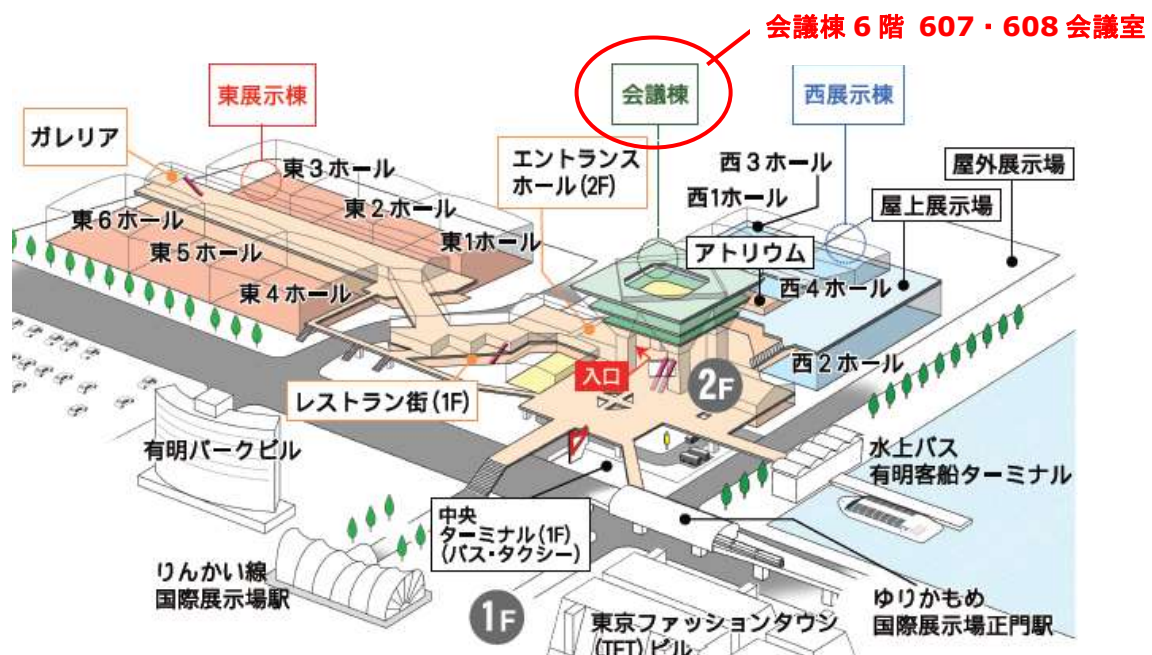
本シンポジウムでは、日本からグリーン購入法やタイプI環境ラベル（エコマーク）およびそれらを推進する取り組みや経験を紹介するとともに、欧州、中国、韓国などの取り組みを積極的に行っている地域の専門家を招き、各国制度の概要や最新動向等を詳しく解説します。

◆概要

- ◆ 日時：2015年12月10日(木)13:30-16:30
- ◆ 会場：東京ビッグサイト 会議棟 6階 607・608 会議室
〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1
URL: <http://www.bigsight.jp/access/transportation/>
- ◆ 主催：環境省、(公財)日本環境協会
- ◆ 費用：無料
- ◆ 定員：200名(事前申込制・先着順) ※定員に達しました。
- ◆ 言語：英語(日英の同時通訳あり)

◎東京ビッグサイト 会議棟

- りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩約7分
- ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車 徒歩約3分



◇プログラム

- 13:30-13:35** 開会の挨拶
三好 信俊（環境省 総合環境政策局長）（予定）
- 13:35-13:50** **【基調講演】**
『日本のグリーン公共調達と環境ラベル -現状と課題-』
平尾 雅彦（東京大学大学院）
- 13:50-14:05** **【日本の最新事例紹介】**
『製品ライフサイクルに立脚した環境影響評価基盤の構築と社会実装によるグリーン購入の推進』
田原 聖隆（国立研究開発法人産業技術総合研究所）
世界のグリーン公共調達と環境ラベルに関する優良事例と最新動向
- 14:05-14:30** **【講演①】**
『EUのグリーン公共調達政策』
Uli Wienrich（駐日欧州連合代表部）
* 質疑応答
- 14:30-14:55** **【講演②】**
『ドイツ環境ラベル「ブルーエンジェル」とグリーン公共調達のための環境基準』
Andreas Halatsch（ドイツ連邦環境庁（UBA））
* 質疑応答
~休憩 15分~
- 15:10-15:35** **【講演③】**
『タイのグリーン公共調達』
Janejob Suksod（タイ公害監視局（PCD））
* 質疑応答
- 15:35-16:00** **【講演④】**
『韓国のグリーン公共調達と教訓』
Kyu-Woong Ko（韓国環境産業技術院（KEITI））
* 質疑応答
- 16:00-16:25** **【講演⑤】**
『中国環境ラベルとグリーン公共調達』
Hongxia Xing（中環連合（北京）環境認証センター有限公司（CEC））
* 質疑応答
- 16:25-16:30** 閉会
宇野 治（（公財）日本環境協会 常務理事）
-

※ プログラムは予告なく変更される場合があります。

◇講演者のプロフィール

[基調講演]



平尾 雅彦氏、東京大学大学院 工学系研究科 教授
博士（工学）。1996年より東京大学工学系研究科化学システム工学専攻講師。2006年4月より現職。環境省グリーン購入法特定調達品目検討会委員、グリーン購入ネットワーク会長、エコマーク運営委員会委員長、日本LCA学会会長等を務める。

[日本の最新事例の紹介]



田原 聖隆氏、国立研究開発法人産業技術総合研究所 エネルギー環境領域 安全科学研究部門 社会とLCA研究グループ 研究グループ長
博士（工学）。博士課程の時よりLCA研究に従事し、LCA再生可能エネルギーによる発電技術の評価、乾燥地植林評価などで学位取得。1997年から日本学術振興会特別研究員、1999年から科学技術振興事業団博士研究員。2001年産業技術総合研究所ライフサイクルアセスメント研究センターに入所し、LCAソフトウェア開発、インベントリ分析、環境効率、持続可能な消費に関する研究に従事。日本LCA学会で研究発表会実行委員、企画委員、編集委員等を務める。

[講演]

◆欧州(駐日欧州連合代表部)



Dr. Uli Wienrich, *Counsellor, Trade Section, Delegation of the European Union to Japan*
イタリア・フィレンツェの欧州大学院にて博士（経済）号を取得後、2003年からベルギー・ブリュッセルの欧州委員会本部に入る。2012年から駐日欧州連合代表部 通商部にて一等書記官を務める。

◆ドイツ



Mr. Andreas Halatsch, *German Environment Agency (UBA)*
2007年にドイツ連邦環境庁入庁。エネルギー効率、およびエコデザイン/エネルギーラベル/ブルーエンジェルの2部門を担当。2015年からRAL-UZ171「プリント機能付き事務機器(プリンタ、複写機、複合機)」の基準策定担当。

◆タイ



Mr. Janejob Suksod, *Director, Environmental Quality and Laboratory Division, Pollution Control Department (PCD)*
設立当初より公害監視局に勤務。大気・騒音管理局計画部門長を10年間務めた後、2013年4月より同局グリーン公共調達の策定部門長を務めている。

◆韓国



Mr. Kyu-Woong Ko, *Researcher, Korea Environmental Industry & Technology Institute (KEITI)*
2012年に韓国環境産業技術院に入り、3年間、グリーン公共調達に関する法律・条令の改定業務やシステム業務、普及業務の担当を務めている。

◆中国



Mr. Hongxia Xing, *Deputy Director of Customer Service Department of China Environmental United Certification Center (CEC)*
中国環境ラベル技術委員会の副部長。中国環境ラベルとグリーン公共調達の分野で活躍。11年以上に渡り、監査部門、技術部門、カスタマーサービス部門で業務を担当し、中国環境ラベル基準「繊維製品」(HJ/T307-2006)、「木製ドア、スチール製ドア」(HJ459-2009)等の基準策定にも携わる。